

第 203 回山梨大学医学会例会

日時：令和 5 年 10 月 25 日（水）午後 4 時 10 分～5 時 10 分

会場：管理棟 3 階大会議室

教授就任講演

山梨で腎臓内科を開花する ～地域に寄り添い世界に発信する～

中島 歩

山梨大学医学部腎臓内科

司会 小泉 修一教授

【要旨】

本邦における維持透析患者数は 35 万人に迫り、年間 1.5 兆円を超える医療費を要しています。この予備群である慢性腎臓病の患者数は 1300 万人と推定されており、なかでも、蛋白尿が持続する慢性腎臓病患者は、尿細管間質に遷延する炎症細胞浸潤が線維化を促進して、腎機能が失われていきます。私は腎臓の線維化について研究してきました。間葉系幹細胞に本来備わっている抗炎症作用と抗線維化作用を強化する培養法を開発して、国内外の特許を取得するとともに、日本医療研究開発機構（AMED）再生医療等実用化研究事業の支援を得て、「慢性腎臓病患者の腎不全への進展抑制を目的とする自家脂肪由来間葉系幹細胞の移入療法」の臨床試験を開始することができています。山梨大学に赴任後は「やまなし減塩プロジェクト」を中心とした慢性腎臓病の啓発活動と、腎臓内科専門医への紹介基準の簡略化を推進しています。山梨県民の腎臓を守るとともに、山梨大学から素晴らしい研究成果を発信できるよう精励してまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。